




## 活動年譜

昭和 56 年 (1981 年)	<b>豊田市テニス協会設立</b> 会員数 : 34 団体 350 人 市民テニス選手権、市民総合体育大会、市長杯争奪室内テニス選手権の 3 大会を開催 テニス教室を開講 (東山・巴森公園)
昭和 57 年 (1982 年)	(財)豊田市体育協会に加盟
昭和 58 年 (1983 年)	チーム対抗戦を加え 4 大会実施。 県民体育大会西三河大会に男女 2 チームを派遣
昭和 59 年 1984 年)	全日本都市対抗テニス大会に選手を派遣、3 位の成績を収める スポーツ振興杯婦人テニス大会を開催
昭和 60 年 (1985 年)	<b>全日本都市対抗テニス大会優勝 (決勝は東京都と対戦)</b>
昭和 61 年 (1986 年)	市民テニス選手権シングルス大会を新設 (一般・ジュニア) 全日本都市対抗テニス大会準優勝
昭和 62 年 (1987 年)	<b>競技委員会・普及指導委員会・総務委員会・財務委員会の専門委員会を設置</b> オープン大会の開催 室内オープン選手権大会を新設 ジュニアテニス教室開講 (井上・文化)
昭和 63 年 (1988 年)	指導者講習会を実施 (ルール解説、クリニック、ウォーミングアップ) 市民テニス選手権の B クラス大会を新設
平成元年 (1989 年)	6 大会実施 参加数 1,536 人 クラブ対抗戦 男子 A~D 級 64 チーム、女子 27 チーム
平成 2 年 (1990 年)	登録団体 : 118 団体 初心者大会、ジュニアオープン選手権大会を新設
平成 3 年 (1991 年)	<b>設立 10 周年記念事業「テニスフェスティバル'91」を豊田市体育館で開催</b> 福井烈 竹内映二、右近憲三、田中信弥のトッププロ 4 名を招き、エキジビションマッチ、 プロに挑戦、テニスクリニック、抽選会を実施 <b>ジュニア委員会を設置</b> 全日本都市対抗テニス大会 3 位
平成 4 年 (1992 年)	愛知県テニス協会主催の公認審判員資格取得とレベルアップ講習会を受講 (52 名) 豊田 JTT (豊田ジュニアテニスチーム) を結成。愛知県を代表するような選手の育成を目指す。 ウィークデー大会 (男女)、スクール生大会、クラブ対抗 (混合) を新設
平成 5 年 (1993 年)	クラブ対抗 (男子団体・女子団体) を 5 月~12 月の年間を通しての団体戦に変更 レベルアップ講習会を年 5 回に増設
平成 6 年 (1994 年)	レベルアップ講習会を「テニスクリニック」に名称変更し実施 クリスマス MIX 室内大会を新設 逢妻中学校に硬式テニス部発足、ジュニア委員会が支援

平成 7 年 (1995 年)	ルール講習会、応急手当講習会を競技委員会主催で実施
平成 8 年 (1996 年)	シニア教室を新設（対象は 45 歳以上の初心者） 100 歳ダブルスオープンテニス大会を新設
平成 9 年 (1997 年)	<b>理事会制度を導入</b> <b>広報委員会設置 協会機関紙「TTA 通信」創刊号を発行</b> <b>スポーツクリエイション年齢別テニス大会（全国に繋がる大会）を新設 県大会出場準優勝</b> シニア教室を「健康テニス教室」に名称変更 対象を 45 歳以上の初心者～初級者に広げる
平成 10 年 (1998 年)	会員数：149 団体 2,910 人（10～30 歳代男子 1057 人・女子 582 人、40～50 歳代男子 635 人・女子 616 人、60 歳以上男子 16 人・女子 4 人） 豊田 JTT 卒の船津大輔君が（高 2）全国ジュニア選手権 16 歳以下ダブルスで優勝
平成 11 年 (1999 年)	<b>スポレク愛知県代表「TEAM TOYOTA」が全国スポレク祭'99 山形大会で優勝</b> 船津大輔君、くまもと未来国体の少年男子の部で優勝、愛知県初の優勝を飾る （ペアは近藤大生君）
平成 12 年 (2000 年)	「スポーツ障害と応急手当」の講習会を実施 9 月の東海豪雨で高岡コート浸水のため 100 歳ダブルスオープンの日程・会場を変更 （12 月全面改修完了）
平成 13 年 (2001 年)	<b>協会ロゴ  協会マスコット  を一般公募から決定、評議員会で応募者を表彰</b> <b>設立 20 周年記念事業「テニスフェスタ'01」を開催</b> 参加型・還元型の内容で、11 月に「おいでんテニスデー」、12 月に「式典、アトラクション、クリニック、大抽選会」等を実施 <b>協会マスコットのネーミングを募集、[ティー太]に決定</b>
平成 14 年 (2002 年)	「第 1 回キッズテニス教室」を井郷中で開催 定員 100 名を超え、一部・二部で実施 <b>会員の要望に応え「第 2 回おいでんテニスデー」を豊田市体育館で開催 参加者 282 名</b> （キッズ・ジュニアテニス、クリニックを実施）
平成 15 年 (2003 年)	<b>豊田市総合テニス場建設推進の署名活動を実施</b> 42,000 余名の署名を添え、市長、教育長、議長に陳情 <b>国際大会の誘致 男子国別対抗戦「デビスカップ」を豊田市体育館で開催</b> （日本 vs パキスタン）国際大会の運営主管を務める <b>豊田市テニス協会ホームページを開設</b> TTA 通信「デビスカップ特別号」を発行 「第 3 回おいでんテニスデー」を豊田市体育館で開催 参加者 271 名
平成 16 年 (2004 年)	健康テニス教室の対象年齢を 50 歳以上に変更 「第 4 回おいでんテニスデー」を 5 会場で実施（猿投コセン・井上・平戸橋・加茂川・高岡）参加者 207 名 <b>臨時評議員会を開催 HP 特別委員会の事業報告と登録制度の改正についての議決</b>
平成 17 年 (2005 年)	チーム会員登録制度から、チーム・個人登録制度に変更 会員数：134 チーム 2,602 人 豊田市の 6 町村合併を受け、「第 5 回おいでんテニスデー」に藤岡会場を追加 参加者 179 名
平成 18 年 (2006 年)	会員数：135 団体 2,697 人 「第 6 回おいでんテニスデー」を開催 参加者 154 名 9/23「テニスの日」に全国一斉ボレーボレー大会が開催され、当協会もおいでんテニスデーで実施

<p>平成 19 年 (2007 年)</p>	<p>会員数 : 139 団体 2,784 人  <b>女子国別対抗戦「フェドカップ」を新豊田市総合体育館のスカイホール豊田で開催</b>  (日本 vs ドイツ) 国際大会の運営主管を務める  TTA 通信「フェドカップ特別号」を発行  「第 7 回おいでんテニスデー」を開催 参加者 207 名</p>
<p>平成 20 年 (2008 年)</p>	<p>会員数 : 137 団体 2,667 人  「第 8 回おいでんテニスデー」を開催 参加者 285 名  東海地区国立高等専門学校体育大会のテニス競技へ審判長を派遣  <b>「2008 ダンロップワールドチャレンジテニストーナメント」をスカイホール豊田で開催</b>  国際大会の運営主管を務める</p>
<p>平成 21 年 (2009 年)</p>	<p>会員数 : 140 団体 2,696 人  大会申込みのメール受付開始  豊田市テニス協会携帯版ホームページ開設  「第 9 回おいでんテニスデー」を開催 参加者 263 名  <b>「2009 ダンロップワールドチャレンジテニストーナメント」をスカイホール豊田で開催</b>  国際大会の運営主管を務める</p>
<p>平成 22 年 (2010 年)</p>	<p>会員数 : 142 団体 2,752 人  <b>豊田市テニス協会 30 周年記念デザインの募集</b>  「第 10 回おいでんテニスデー」を開催 参加者 282 名  <b>「2010 ダンロップワールドチャレンジテニストーナメント」をスカイホール豊田で開催</b>  国際大会の運営主管を務める</p>
<p>平成 23 年 (2011 年)</p>	<p>会員数 : 137 団体 2,758 人  <b>豊田市テニス協会 30 周年記念デザイン決定、評議員会で応募者を表彰</b>  <b>設立 30 周年記念事業「おいでんテニスフェスタ」をスカイホール豊田で開催</b>    「杉山 愛」講演会・クリニック、記念式典、アトラクション、東北震災復興チャリティフリーマーケット、大抽選会を実施（おいでんテニスデーを含む）  チャリティ募金は、協会、大会、教室での募金と合わせ、中日新聞社会事業団に寄付  <b>「2011 ダンロップワールドチャレンジテニストーナメント」をスカイホール豊田で開催</b>  国際大会の運営主管を務める</p>
<p>平成 24 年 (2012 年)</p>	<p>会員数 : 147 団体 2,797 人  <b>体協設立 60 周年・法人化 30 周年の記念式典で『特別功労賞』受賞</b>（国際大会を 6 年間にわたり開催し、多くの市民に世界レベルを見る機会を提供したことへの功労）  <b>新市長へ総合型テニス場の建設に関する陳情書を提出</b>  救命講習会を実施（AED の使い方など競技・普及・ジュニアほか 30 名が受講）  東海地区国立高等専門学校体育大会のテニス競技へ審判長を派遣  「第 12 回おいでんテニスデー」を開催 参加者 279 名  <b>「2012 ダンロップワールドチャレンジテニストーナメント」をスカイホール豊田で開催</b>  国際大会の運営主管を務める  スポレク東海大会の運営主管を務める</p>

<p>平成 25 年 (2013 年)</p>	<p>会員数：148 団体 2,861 人  協会組織：役員会 8 人 理事会 19 人 専門委員会 106 人  指導者講習会を開催（熱中症対策、ルール講習会に普及・競技・ジュニアほか 25 名が受講）  「第 13 回おいでんテニスデー」の開催 参加者 224 名  総合テニス場建設に向け笠井教育長へ陳情  <b>「2013 ダンロップワールドチャレンジテニストーナメント」をスカイホール豊田で開催</b>  国際大会の運営主管を務める  スポレク東海大会の運営主管を務める</p>
<p>平成 26 年 (2014 年)</p>	<p>会員数：137 団体 2,834 人  協会組織：役員会 8 人 理事会 19 人 専門委員会 106 人  指導者講習会を開催（けがの応急処置）  「第 14 回おいでんテニスデー」の開催 参加者 258 名  <b>「スポーツレクリエーション年齢別テニス大会」東海大会優勝</b>  <b>「2014 ダンロップスリクソンワールドチャレンジ」をスカイホール豊田で開催</b>  国際大会の運営主管を務める  スポレク東海大会の運営主管を務める</p>
<p>平成 27 年 (2015 年)</p>	<p>会員数：139 団体 2,937 人  協会組織：役員会 8 人 理事会 19 人 専門委員会 97 人  「スペシャルオリンピックス」の支援  東海・北信越ブロック 夏季ブロック大会 in 愛知 への競技審判員派遣  「第 15 回おいでんテニスデー」の開催 参加者 310 名  <b>「2015 ダンロップスリクソンワールドチャレンジ」をスカイホール豊田で開催</b>  国際大会の運営主管を務める  スポレク西三河大会の主管、東海大会の運営主管を務める</p>
<p>平成 28 年 (2016 年)</p>	<p>会員数：141 団体 2,875 人  協会組織：役員会 8 人 理事会 19 人 専門委員会 96 人  協会登録の申請方法を「郵送」のみから「メール」を追加  「第 16 回おいでんテニスデー」の開催 参加者 270 名  <b>「2016 ダンロップスリクソンワールドチャレンジ」をスカイホール豊田で開催</b>  国際大会の運営主管を務める  スポレク西三河大会の主管、東海大会の運営主管を務める  ひまわりテレビの特番で協会活動を放映（NEW YEAR テニス）  <b>設立 35 周年記念事業「式典・講演会・抽選会」を豊田産業文化センターで開催</b>  「おいでんテニスデー」が <b>2016 テニスの日 大賞</b>を受賞</p>
<p>平成 29 年 (2017 年)</p>	<p>会員数：136 団体 2,850 人  協会組織：役員会 8 人 理事会 21 人 専門委員会 94 人  「第 17 回おいでんテニスデー」の開催 参加者 288 名  <b>副市長へダンロップスリクソンワールドチャレンジ 大会終了の報告</b>  <b>「2017 ダンロップスリクソンワールドチャレンジ」をスカイホール豊田で開催</b>  国際大会の運営主管を務める  スポレク西三河大会の主管、東海大会の運営主管を務める  「おいでんテニスデー」が <b>2017 テニスの日 特別賞</b>を受賞</p>

<p>平成 30 年 (2018 年)</p>	<p>会員数 : 132 団体 2,734 人  協会組織 : 役員会 8 人 理事会 21 人 専門委員会 94 人  ルール講習会を開催 (講師 : 国際レフェリー松野氏 競技・普及・ジュニアほか 50 名が受講)  「第 18 回おいでんテニスデー」の開催 参加者 292 名  「おいでんテニスデー」が <b>2018 テニスの日 優秀賞</b>を受賞  中根会長が叙勲受賞 (旭日双光章)</p>
<p>平成 31 年 令和元年 (2019 年)</p>	<p>会員数 : 126 団体 2,693 人  協会組織 : 岩田新会長を筆頭に役員 27 名 委員 90 名で運営スタート  ルール講習会を開催 (講師 : 日本テニス協会 A 級審判員大原氏 受講者 32 名)  「第 19 回おいでんテニスデー」の開催 参加者 315 名  「おいでんテニスデー」が <b>2019 テニスの日 個別イベント特別賞</b>を受賞</p>